夕刊 磐城新聞
二月七日發行
東京振替一〇・五六五五番

入學難風景

狩野生

多年の入學難を緩和するため始めて無試驗制度が實施された。

文部の府に在る有能の十が「野」の意見を綜合！一斷行したのであるから一應々察らしくは肯寄された。

然し事實は小學五年六年迄の成績を内申する事に點を置いたのであるから受驗する側の恐怖が皆無となつたのではない。

口答試問などに至つてはそ、どんな事柄を訊ねられるもの、も見當が付かずツス第味態、第二の恐怖もある。

昔から秀才は小柄な者多いと云ふが、體格に重點を置かれると稀代の神童も憐れである。

それでゐて何の學校も内申成績の點々は五番以内でなければ絶望だといふ。

體格と學力が兼備してゐても特權階級ならざる學童は決して安心して入學は出來ない第三第四の恐怖も有る。

燒野の雉子夜の鶴、我が子思はぬ親は無い、近代文化生活の潮流を泳いで行かねばならぬ親達は目下此の入學シーズンを控へて名案ならざる迷案に混惑して所松雙林時代とは亦變つた子ゆための浮身を窶してゐる譯である。

運動次第でどうでもなると云ふ野方圖な放送をして御馬鹿チャンリンに拍車をかけるものもある。

然しそれ程教育が均霑した教養が現代人の武器となつた以上一枚でも上の學校、少しでも良い學校に入學させ度い事は親の虚榮心斗りとは云はれない。その爲めには秀才たからと拱手傍觀はし居られない。斯ふなれば入學に一つの戰ひであり、學校は學校屋になり下つて行くのかも知れない。それは現代人の多くが學問を一つの世渡り道具と考へてゐるからである。

學校の先生も玩具視されてゐる。教育の奧に潜はる根本問題は誰が何時、何處で考へてゐてくれるのであらう?。

冬となる

田中武彦

○シユペー號遂に自ら沈みしといふ背戸に櫟は落葉しやまず

○わが事の成らんとしつつ寂しけれ日はあたたかく枯草丘に

○食卓のクロース白し人間の危き作うおもひゐのく

○わが靴の音ばかりなり冬ざれの街にかゞやく光はあらず

○ひもじきに似つつ樂しき思ひあり童を抱きて遊ぶしばらく

2月8日

△ラスキン生る(一、八一九)△新聞の發行を許す(明治二)△日露開戰(同三七)△ソ聯の北樺太に於けるわが利權侵害に對し東郷駐ソ大使に抗議方訓令(昭和一三)

○

石は燒けば灰となる
金はやけば寡金となる

日遊

拈華微笑

銃後意識の心强さが窺へる市民の簡保加入率
心も時節柄嬉しい極み
◇
まこ餅が食へる
これこそ本當の正月餡コール
◇
あす舊正月元日
風料峭乍ら春らしい心地
◇
轉ばぬさきの杖郵便年金への關
如月の雨に微かな土の膨らみ。憬々の陽に春を一息吹く

講談 振袖横町 (138)

須藤鐘一　荻原萬象畫

戰鬪準備(三)

「まあ、一杯やりながら、久兵衛の話を聞いて下せえ」と、云ひながら盃を出す。

「いま、御身内衆とやつてゐましたところで――。まあ／＼お話を承はり度いもんで――」

「聞いて下せえ、此奴の良人と言ふなあ、わつちの片腕と頼んだ奴なんでしが、どうしても親分子分の縁を切らなけりやならねえやうな羽目になつてしまつたんです。と云ふも、悪事をしたわけぢやねえんで、今聞いてゐたところでは、今日金五郎さんは、井伊部屋へお出になつたとかですが、その井伊部屋の部屋頭直右衛門と間違ひを起したんで――。けれど理窟は兎も角殿樣の御用で出掛けたのゝ喧嘩をしたつてわんで、そのまゝにして置くと、わつち一家が散々ばら／＼にならなきあならねえことになつたんだが、この先にゐる、虎五郎といふ仲間の者が仲に入つて、此奴の連合彌吉と云ふんですが、それとの縁を切つて圓く納めさせて呉れと言はれたもんで、わつちも仲裁は時の氏神とまかしたやうな譯なんですかね――。それから虎五郎さんは八方に奔走して、この話につとて呉れたんです。ところで、彌吉をこのまゝにして置くのも可哀想だと云ふので、向島に虎五郎さんが骨を折つて、家を借りて呉れたし、また、虎五郎さんのお際で賭場も開けるやうになりやしたんで、ところが、井伊部屋に厄介になつてえた奴で政吉つて野郎が矢張り向島にゐたんですが、此の野郎、彌吉がだん／＼と男を賣り出すと、しつこくつけまとひやがつて、様子を窺つてゐたんです。

この男は鎗が測にゐた繁五郎と云ふ者の子分になつてゐたんですが、その親分の繁五郎と云ふのは九州の浪人だつたのが、井伊部屋で遊んでゐるうちに、大小を捨て、渡世人になつた奴。それなのに、彌吉がぐん／＼と賣り出したし、それも部屋頭の直右衛門と喧嘩してからなんで、面白くない感情が動いてゐたんですね――」

彌吉は、そんなことを知らねえもんだから、お客大切と賭場の世話をしてゐたんですよ――」

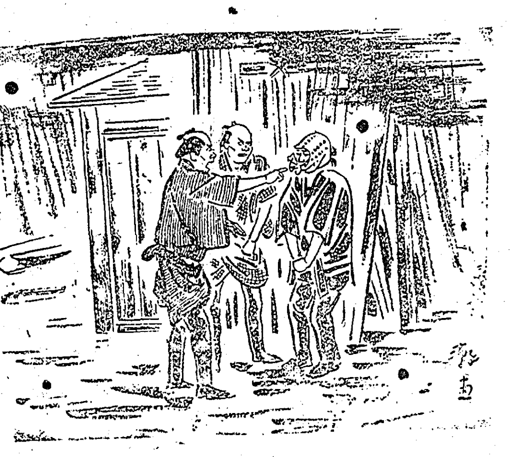
「なるほど」

金五郎も、鈴鹿峠の下で庄兵衛と、德五郎の爭ひの事を思ひ出して、博奕打仲間にはありさうなことだと考へてゐた。

「ところが、覗ふ者には油斷がねえ、彌吉の奴が用達に行つて歸つて來る途中を繁五郎一家の者の待伏せに合つて、變聲されたんだが、彌吉も劍術は道場で修業しちやねえが、なか／＼喧嘩に慣れてゐるんで、繁五郎もなか／＼骨が折れたらしいんです、相手は五人、それでも、やつと一方の血路を切り開いて逃げ出したんだが、身体には十何ヶ所の傷を受けてゐたんで……」

やうやくの思ひで向島の家までたどりつき、戸口でばつたりと倒れてしまつた。此奴は驚いて『お前さんどうしたんです?誰にやられたんです、しつかりして下さいよ。傷は大したことはないんです。日頃のお前さんにも似合はない』と、力をつけたんですが、繁五郎に斬られた右腹の傷がひどいのとこゝまで來る間の出血で、敵は繁五郎だつ!。と云つた切りで事切れしまつたのでげす』と、久兵衛は語り終つたのであつた。

金五郎は、その話を默つて聞いてゐた。



ミシン

平驛前大通り(シンガー)
石川ミシン店
世界代表 シンガーミシン
日本代表 アサヒミシン
ニツポンミシン
コントロール
◎月賦販賣 ◎無料教授

男女 車掌募集 (三名)
1、年齢十六オヨリ十九オマデ
2、未經驗者ニテモ可
3、給料其他ハ委細面談
合名會社 平、四倉乘合自働車
平四丁目 電五九四

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

『旨い』と一言にして盡く
神戸牛
すき燒
相始め申候
日本料理 山茶莊
電話五二〇番

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多産種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平産業養狸組合事務所
乾産業會社畜産部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
内郷村授(平市外)
出張所 平驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合
◇藥品藥養榮 飼料各種◇
◇北里研究所製 ジステンバー豫防液
◇東亞製藥所製 綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末(動物わかもとの稱あり)
◇フイツシミール 榮養魚粉
病理研究、診療
榮養劑の配劑
飼育指導の需に應
擔任 技師 獸醫師

酒トマヅイ
たでんの
榮ちやん
平市田町花ノ里
電話三三番

毎度有難う御座います。
パン食普及の時代!
自慢の食パン 一斤十六錢
榮養パン　バターロール
甘コツペ　チヨコレートロール
野菜サラダパン　クリームロール
カレーパン・カツパン・黒パン
ベーカリー 東京堂
平市桜槌小路〔電話一〇八番〕

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

これは便利!
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
㊮マルミ 粉末石鹸
製造元 平市材木町二

純綿利用加工時代!
染め物は
質實と技術の優秀を誇る
迅速 叮嚀
吉田屋染工場
平市五丁目
電話五五八番

中等學校
制服……大特賣
㊫
高嶋屋の洋服
男女學生服 新入荷
品製既文注ニ並
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

御婚禮着付
和洋結髪
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい
パーマネント・ウエーブ
何卒御用命の程を
(徒弟入用)
手塚美容院
平市新田町

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者 强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
入院隨意
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎

歸郷御挨拶
謹啓 時下嚴寒之候益御清適の段奉賀候陳者小生今事變頭初應召以來〇〇陸軍病院外科勤務中は公私共多大なる御高配を賜り大過なきを得常に感謝仕居候今般不圖も召集解除と相成歸郷仕候就いては今後銃後にあり一層勉勵仕心組に御座候間何卒倍舊の御鞭撻を賜り度茲に謹みて御挨拶迄如斯御座候　敬具
昭和十五年一月三十日
平市南町
上田耕作

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
最新型フオード
入車いたしました。是非! 御試乘の程を!
市内四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

興亞の春に大開拓

銃後財政經濟の强化を目指して 平局の保險年金增加運動

今局扱ひに係る去月末現在の簡易保險は市內二萬千六百五十四 市外（飯野、高久、神谷）四千二百七十八 合計二萬五千九百三十二口 この保險料二萬二千四百四十四圓 保險金實に四百三十二萬千十四圓四十錢の多額に上り一方學校、上水道其他公共事業に對する平市への二十一萬四千圓をはじめ地方還元の貸出しが行れ、適正なる資金の融通は中央地方間に共榮依存の實を收めつつあるが人口千人に對する加入率は市內六六八、市外四二一で尚は開拓の餘地無しとせぬ處から本年度に於て更に成人三千二百件、小兒千件、合計四千二百件の增募を計劃し之が實現達成を期すべく意氣込んでゐる（前記數字は昨年六月好間局集配事務開始により契約數四、五三六件保險料三、五三五圓保險金六九五、六三六圓を控除したる額）

。。。。。梨品評會授賞式 石城郡農會では十一日の紀元節を卜し平市團体事務所で第二回梨出荷品評會褒賞授與式を擧行する

△一等上好間鈴木重行、內郷薪勝雄、上好間金成辰吉、宮館島長三郎、內郷荻定雄、北好間深川清治、同近卯太郎、內郷久野榮次郎、上好間金成義雄、北好間鯨岡忠助、內郷草野雅一

理想的の身構へ

改正制度の特色

郵便年金の種類は次の如く堅實な將來の備へとして夫々の特色を持つて居る。

保證期間附即時据置終身年金 加入の時から又は支拂年齢に達せられた時から一生涯年金の支拂をする、其の外に定つた保證期間（十五年、二十年）內に受取人に萬一のことがあつた場合は殘期間中は同額の年金を遺族に支拂ふことになつて居る。据置年金は加入後年金支拂開始前に受取人に萬一不幸があれば拂込んだ掛金に年二分の福利利息を附して返す。

定期年金 子供が中等學校や更に上の學校を卒業する迄の育成資金として又獨立の生計を樹てて置り結婚後暫らくの間の家計補助とすることが出來る。

團体年金 會社、工場と鑛山等に勤務者の爲めに新しく出來た年金制度で同じ所に勤める人が七割以上で十人以上が一組合を作り掛金の拂込も都合のよい時に拂込まれるので今日のやうな時代に經濟生活の基礎を固めて恒久的な生活の安定を計る事が最も肝要である。

特別返還金 受取人が戰爭や事變で亡くなつた場合は遺族に特別返還金を支拂ふ

倍加を目指す年金

大衆の理解に便乘

將來の生活安定に役立つばかりでなく國家の戰時財政經濟にも力强い貢獻をする處から近來大衆の理解を深めつつあり郵便年金は此の度の改制により一層利用範圍が擴張されたので平局でも此の機を逸せず本年度に於て倍加運動を始め年金額二萬一千圓を開拓することになつた。

平局の去月末現在年金は（受入票）一三七掛金額八 二八一圓一七錢年金額一九 二四五圓七六錢（支拂票）四九掛金額七八、四九七圓二五錢、年金額五 三四一圓八一錢＝之亦好間局移管分を控除

皇軍扶翼修練講習

市郡下からも參加方勸誘

憂慮すべき現世相の根元を突いて是正の策を樹てんとして創設された皇軍扶翼會主催の第一回修練講習會は三月一日から五日迄禊行（鎌倉海岸）六日より十五日迄講習會（東京郊外伏見道場）の順で行はれるが科目講師次の如く市郡下から受講生一二名の推薦方を助川代議士から遠沼本社長宛照會して來た

（國体の原理）今泉定助（政治學）大東文化學院藤澤教授（經濟學）難波田博士（哲學）齋藤博士（思想）池田大審院檢事（東亞新秩序と興亞院）鈴木陸軍少將（國防論）中村海軍大將（革新政治の原理）東郷博士（農村政策）助川代議士（商工政策）木蓄代議士（財政）帝大教授牧野博士（外交）米田博士（對支）八角海軍中將

木炭自動車取扱講習

事故の防止を期し 廿七日平署會議室で

地方にも一昨年末より出現した木炭自動車はガソリン消費規正の强化に伴つて相當數に上つてゐるが取扱技術の未熟から未だ充分その性能を發揮し得ず、發生ガスの漏洩等によつて事故を惹起してゐるに鑑み自動車協會平支部では關係者に取扱技術を指導すべく縣保安課今井、高橋兩技手を講師として來る二十七日午前十時から午後五時まで平署會議室にこれが講習會を開くこととなつた

春の淡い寂寥

懷しむ地方人 傳統の賣り初めを

愈よあすが舊正元日である。三日間の自粛休業に市內商店街の靜けさも今迄に見ぬ時局下光景であるが全市に人渦を卷いた二日の賣出しが廢止されたことに傳統を思慕する土地つ子としての淡い寂しさが感ぜられぬでもない

豫算編成を終へ一と息の市當局

『蔭の人』酒井さんの心勞

縣當局のキツイお達しにしばられながら昨年から五千餘圓を增した丈で總額四十五萬餘圓と苦心の新豫算を編成した市で青沼市長以下ホッと一と息の態であるが每年この豫算編成季に『蔭の人』として心をくだく酒井庶務課長さんの努力は見のがせない、昭和元年の町役場入り以來庶務を擔當して伏見町長を扶け、同六年末助役に簡拔されてからは青沼市長の女房役として每年豫算の編成に算盤と睨めつこを續くること丸十五年、今では廳內の生き字引として老來彌々旺んな錬達振りを發揮して居る。きのふも例のソロバンを彈じかせながら水道の負債も十餘萬圓消わらし殘りの六萬圓も明後年度には大体半減される。それに水道の國庫補助金千圓が一躍一萬圓に增額されて有力な財源となつた、今年度あたりは無修正だつたし昭和五、六年頃から見るとずつと樂になつた。と語る酒井さんの額には苦勞？の皺が深く見れた

市で近く合同市葬

市內立町出身故綠川武智上等兵の遺骨は昨六日午後六時二十二分着で喪の凱旋した、市では舊正月あけ永島磯惣太大尉とあはせ合同市葬を執行すると

機敏な志賀誠君

火事一歩前で消す

神谷村中神谷字天神平機關區機關助手志賀誠君（二〇）は一昨五日夜十時頃歸宅の途中市內鎌田町飲食店菅野勘助さん方の煙突附近から發火したのを逸早く發見火事だ〳〵と喚く一方自分の外套を脱いで消し止めカマドの一部を燒いたのみで大事に至らず鎮火させた機敏な行爲を平署で賞讃縣當局に表彰方を具申した

針金の不足時代を竹細工で行かうよ

市農會で作製講習會

市內平窪方面の農業用背負籠其他各種竹細工は今まで四ツ倉方面が盛んであつたが針金配給不足の折柄市農會ではこの代用品の作製を平窪全部に奬勵することとなり來る十五日から二十日まで平四ヶ學校講堂に於て講習會を開くが舊平窪一帶の各戸毎に竹やぶがあるから材料に困らないので農家でも張り込んでゐる

禁酒して献金

小名濱町橋本料理店相澤那松（三六）は昨年一月一日より禁酒を斷行、以來一日十錢宛貯蓄金五十圓を恤兵金として平署へ寄託した

燒き棄れし反古供養

何年前かの投書を取り出して 隱れた人生斷面を見る

D。。。。。。。投稿と投書します

凡そ人間は皆々パンを得んがためには働きもし又勤め人なら少しでも昇級を望み商賣人なら少しでも賣行きの多きを望むと同じく醫者も患者の一人でも多きを望むのが人として誰しも同じ事と思ふ。

ア、それなのにである。平市外のある○科醫の如き變人なのかひねくれ者なのか患者に對して生徒に對する敎師の如く説明の多き事よそれに末たよいとしてある婦人患者、これは子供が患者なのだらう、大がいの子供は治療室のビカ〳〵する物を見た丈でも二度と來るのがいやになる醫院、自分から進んで行かふと云ふのだから、餘程痛からだろうと思つてもさしつかひない。ところがその先生なる人がいはれるには坊は少しも痛くなからう只來て見たくて來たんだらう

只家…なんて、そだ…チンドン屋をのますと細なる婦人はどんな氣持も小學生、幼兒に至るまちがいからか子供が又で自分のところへ來てくれころげる程×痛がしても患者に丁寧親切に治療先生の所へつれ行つてきてやればそれが却つてチかもまた生分でインチキ藥ンドン屋より以上のよいせを付けておけば何れ仕んでんになろうと思ふ。せさつてに、○醫者なし外かく痛みを止め貰ふいくらもあるんだ。そしと思つて來た者を不快な思一軒が○醫者ちあるまいひさせてかへすところからし、とこれもその一婦人が言ればバ、この先生自院のだよんがいしての話だが、商やも事は望ましくしい、賣人ならチンドン屋でチン學校出たからつて無理に開〳〵ドン〳〵さんでもよか業する事あるまい、寢て暮ろうけど、○科醫などは特したら如何。

只曹から大火靜岡へ

[illegible]として系統各工場會社從業員が靜岡の大火に見舞金として金五十三圓二十七錢を醵出東部平通信部を經て送つた

磐女音樂會

磐城高女で十一日同校講堂で出征遺家族を招き音樂會を催す

大火見舞

酒井部隊遠藤與市君は前線から歸還金六圓を靜岡の大火見舞金として贈つた

賭博

六日午後一時頃小名濱町諸千葉利左衛門方で同家の雇人岩手縣生（）渡邊正一（二九）宮城縣生れ西原久男（三五）四倉町仲町岡田兼吉（三二）外一名は花賭博の開張中を平署で一網打盡

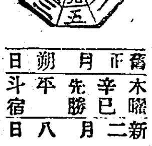
賀故井上平消防組頭頌德碑成

珠雲 小野務平

唱導常看有遠謀
奉公多歳絶倫儔
勒碑十仞勳猷續
風格德聲存萬秋

八日

【十六、宇發御發所調】
滿潮 前五、二五 後四、〇五
干潮 前一〇、四五 後一一、〇〇



新	二月八日 木曜
舊	正月朔日
辛巳	先勝
平	斗宿

▲一白 今日は安かれと不滿を起さす辛抱するが吉▲二黑 內外共に滿足を得る日交友ばう間幸慶を招く▲三碧 理想の計畫に過因なるに姿き日但病難注意▲四綠 大發展を遂ぐべき日なれど才智にほこるは凶▲五黃 奮發すれば他よりの引立と共に繁榮を見る▲六白 家業大事と他念なければ過ちなし 紛離注意▲七赤 努力した程に成績はあがらざるもけん怠するな▲八白 期せずして物事のはかどる日油斷なく進むべし▲九紫 些細の動きにも注意して他事を心に掛るな

物資愛護・國策順應

其の筋の注意により市內各組合が歲末、年始の景品附賣出しを差ひかへることに申合候

舊正月一二三日 自粛休業

平商工會
商業組合 工業組合 平市聯合會

田毎の みつまめ

白蜜と赤蜜
あんみつ
苺ミルク

田町 電632

外科一般
內臟外科 肛門病科 皮膚科 泌尿生殖器科（婦人科性病科） 專門
白土醫院
平市字鎌田町 電二七九
（入院隨意）
看護婦及見習看護婦募集

耳鼻咽喉科專門 レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

昭和十五年度入學生募集
本科…（修業年限二ケ年）一〇〇名
技藝科…（修業年限二ケ年）一〇〇名
專攻科…（修業年限一ケ年）五〇名
各科二年…補欠入學生 若干名
課外教授（タイプライター、琴、生花、ピアノ洋裁（タイプライター修得者は本校に於て職を斡旋致します））
文部大臣認可 平陽女學校

國はニッポン・魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣 平製氷會社（電三一八・三一六）
タヒ 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝柱
冷カツノコ ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
平代理店 四丁目 魚問屋
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

開業
內臟外科
整形外科
平市大町二番地
內木外科醫院
醫學博士 內木宗八
（入院隨時）

重田眼科
眼科一般 眼鏡檢定
平驛前通り 元貯蓄銀行跡
醫師 重田景治
平市田町一番地

夜間診療
胃腸性病
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科 專門
（見習看護婦募集）
松村內科胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）

外科、內臟外科 エツキス光線科
平市田町 院長 安齊徹
入院隨意
安齊醫院
電話四七五番